（様式３）目的設定表(令和02 **年度）　予算区分：** 通常　　**要求区分：** 令和 2年度 9月補正予算　　**確定日（** 令和02 **年** 09 **月** 01 **日）**

事業ｺｰﾄﾞ	03050220	**政策コード**	03	**政 策 名**	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略
事 業 名	大径原木加工施設整備緊急対策事業	**施策コード**	05	**施 策 名**	「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化
		指標コード	02	**施策目標(指標)名**	林業の成長産業化に向けた生産・流通体制の強化

部 局 名	農林水産部	**課 室 名**	林業木材産業課	**班名**	木材加工技術班	**(tel)**	1916	**担当課長名**	沼倉直人	**担当者名**	木村明憲

評 価 対 象 事 業 （ 計 画 ） の 内 容　　**事業年度**　令和02 **年度** 〜 令和02 **年度**

１．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、供給過剰となって利用が進まない大径原木について、付加価値の高い製品に加工して需要の落ち込みが少ない海外へ輸出できるよう、木材加工施設の整備を図る必要がある。

２．住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

■ 受益者　□ 一般県民　**(時期：** R02 **年** 06 **月)**

②ニーズの把握の方法

□ アンケート調査　□ 各種委員会及び審議会　■ ヒアリング　□インターネット

□ その他の手法　**(具体的に　)**

③ニーズの具体的内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、行き場を失った大径原木を有効活用するため、加工施設の整備が必要との要望が寄せられている。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針

①理由

②今後の方針

３．事業目的（どういう状態にしたいのか）

行き場を失った大径原木を有効活用して、付加価値の高い木材製品に仕上げるほか海外へ販路を拡大し、需要の落ち込みを下支えする。

(重点施策推進方針との関係)　○ 重点事業として要望　● その他事業として要望

４．目的達成のための方法

①事業の実施主体　県

②事業の対象者･団体　木材加工企業

③達成のための手段

加工した大径木を輸出するために必要な木材加工施設の整備に係る経費を助成する。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性

国の当初予算事業でも同様のメニューがあるが、事業実施時期、採択の難しさ等から、早期実施のためには補正予算を活用する方が妥当である。

５．事業の全体計画及び財源　　**単位(千円)**

順位	事 業 内 訳	左 の 説 明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	大径原木加工施設整備緊急対策事業	大径原木を加工し、輸出するために必要な木材加工施設の整備を支援する。	21,425	0	0	0	0	0	21,425

財源内訳	左 の 説 明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
		21,425	0	0	0	0	0	21,425
国 庫 補 助 金	6次産業化市場規模拡大対策整備交付金	21,425	0	0	0	0	0	21,425
県 債		0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源		0	0	0	0	0	0	0

６．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	加工された大径材の海外出荷

指標Ⅰ

指標名	付加価値の高い製品の生産量のうち輸出向け製品の輸出量（m3）	指標の種類
指標式	付加価値の高い製品の生産量のうち輸出向け製品の輸出量（m3）	●成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a			800					
実績b								
東　北								
全　国								

②データ等の出典

林業木材産業課調べ

③把握する時期　○ 当該年度中　月　● 翌年度 06月　○ 翌々年度　月

指標Ⅱ

指標名		指標の種類
指標式		○成果指標 ○業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）

指　標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a								
実績b								
東　北								
全　国								

②データ等の出典

③把握する時期　○ 当該年度中　月　○ 翌年度　月　○翌々年度　月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大径材の需要が減少していることから、海外輸出に取り組む加工施設の整備に支援することで、行き場を失った大径原木の需要の回復を図ることができる。

住民ニーズに照らした事業の必要性

行き場を失った大径原木を有効活用するには、虫害防止や付加価値向上を図る上で、木材の乾燥が不可欠であり、乾燥施設の早期の整備ニーズがあるため、当事業は必要である。

事業の県関与の必要性

□ 法令・条例上の義務　□ 内部管理事務　□ 県でなければ実施できないもの

■ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

大径原木を抱える素材生産業者は全県に散在していることから、県が関与する必要がある。また、国庫補助事業の仕組み上、県等による間接補助事業として実施する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	○重点事業　○その他